

環境政策論

2018年度前期集中講義 2単位(2年次生対象) 担当:現代社会学部・教授 上坂博亨

授業の概要	2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」による世界的合意事項であるSDGs(Sustainable Development Goals)を踏まえ、富山県の自治体・研究所・企業等の環境政策と取り組みについて学ぶ。				
キーワード	環境政策	SDGs	持続可能	社会経済	企業活動
到達目標	1. あらゆる活動(企業、生活者等)において環境保全に配慮した行動が求められていることを考慮し、県民や事業者に必要な環境法令や自主的な行動について理解を深める。 2. 富山県の特徴的な環境施策について理解を深め、県の環境政策や取り組みを説明できるようになる。				

現代社会学部

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	⑧環境デザインに関する専門性の向上	⑩専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
	○	◎	○	

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学習指導・自主活動
◎			○	○	

授業計画

回数	授業内容詳細	標準時間
第1回-説明	オリエンテーション(上坂博亨/富山国際大学現代社会学部) はじめに/富山県の環境政策概論(富山県生活環境文化部)	
第2回-説明	地球温暖化対策の現状について～SDGsの実現に向けての取り組みを踏まえて～(環境政策課 地球環境係) 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」による世界的合意事項であるSDGsについて触れながら、その17の目標のひとつである「気候変動に具体的な対策を」の具体例として富山県の地球温暖化対策について取り上げる。	
第3回-説明	生活環境の保全のために(環境保全課) 環境法令の基礎と、富山県の現状と施策について知識を深め、富山県の環境の保全に必要とされる行動について学ぶ。	
第4回-説明	富山湾における豊かな海づくり(水産漁港課) 富山湾の水産業を通し、その特徴を知る。また現在の富山湾の漁場環境を取り巻く問題やその対策について学び、豊かな海づくりへの取り組みについて考える。	
第5回-説明	立山の自然環境と災害(立山カルデラ砂防博物館) 富山県民にとって身近な立山の成り立ちと、豊かな自然について学ぶ。また、一方で過去に大きな被害をもたらした災害について知り、これまでに行われた対策と現況について学ぶ。	
第6回-説明	水と緑の森づくり(森林政策課) 全国と富山県の森林の概況を踏まえ、現在の問題点について把握する。また、その解決のために富山県が行っている施策や様々な取り組みについて学ぶ。	
第7回-説明	学外施設見学(富山国際大学):バスツアーとして、下記の二カ所について施設見学と現地学習を行う。 ①イタイイタイ病資料館 ②とやまペレット工場	
第8回-説明	学外施設見学(富山国際大学) (第7回からつづく)	
第9回-説明	廃棄物の3Rの推進について(環境政策課 廃棄物対策班) 本県の目指す循環型社会について、食品ロスやリサイクル制度、レジ袋の削減、海岸漂着物など富山県の現状を踏まえながら、その実現に向けての取り組みについて学ぶ。	
第10回-説明	企業での環境保全・3Rへの取り組みについて(ハリタ金属) 富山県内で積極的に環境保全活動に取り組んでいる企業を講師に迎え、その課題と取り組みについて学ぶ。	
第11回-説明	学外施設見学(富山国際大学):バスツアーとして、下記の二カ所について施設見学と現地学習を行う。 ①常西公園小水力発電所、東町・東新町公民館小水力発電所(富山市が運営する小水力発電所) ②仁右エ門用水小水力発電所(富山県が運営する小水力発電所)	
第12回-説明	学外施設見学(富山国際大学) (第11回からつづく)	
第13回-説明	<グループワーク> グループごとにテーマ(分野)を絞って未来の富山にむけた「私たちの環境政策」を考える。1日目から3日目までの講義内容を復習し、あるいはインターネットなどを用いた調査に基づいて、グループディスカッションを通してアイデアを纏める	
第14回-説明	<グループワーク> (第13回からつづく) 発表に備えてパワーポイント資料を作成する	
第15回-説明	<グループワーク> 検討内容をグループごとに発表し、質疑応答を行う。	
第16回-説明	最終レポートの作成	

評価方法	・レポートの提出および内容評価(50%) ・グループワークにおける積極的取組(50%)	
------	--	--

使用資料<テキスト>	必要に応じて資料を配布する	使用資料<参考図書>	講義にて提示
------------	---------------	------------	--------

授業外学修等	平成30年度は8月27日(月)から30日(木)の集中授業とする。 会場:富山駅前CiC5階研修室
授業外質問方法	原則、各講義終了後。なお、後日質問がある場合は上坂まで。
オフィス・アワー	(集中講義のため設定なし)

航空機入門 Introduction to Aviation		配当学年	1～4年
		開講学期	前期・集中講座
		単位数	1
		単位区分	
担当教員	富山県立大学教授 坂村芳孝 " 客員教授 戸田信雄	関連する 学習・教育目標	
授業の目標	航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。		
学生の到達目標	① 航空機の歴史、開発、生産、安全性についてその概要を説明することができる。 ② 航空工学の基礎（空気力学・飛行力学）を理解し、その概要を説明することができる。		
授業計画	① 大空への挑戦から MRJ へ ② 航空機の開発と生産 ③ (1) 飛行のしくみと揚力 (2) ロケットの基礎 ④ 空気力学の基礎 ⑤ 飛行力学の基礎 ⑥ 航空機部品生産の現場（仮） ⑦ 飛行機の整備（仮） ⑧ 航空機に関する最新の研究トピック		
キーワード	航空機、飛行機、ロケット、型式証明、複合材料、応力、疲労破壊、ベルヌーイの式、渦、揚力、抗力、静安定		
成績評価法	レポートによって評価する。		
成績評価基準	レポート（100%）		
教科書・教材参考書等	参考書：室津義定「航空宇宙工学入門 第2版」森北出版 ISBN：9784627690325 牧野光雄「航空力学の基礎 第3版」産業図書 ISBN：9784782841044		
関連科目・履修条件等	高等学校で物理を履修していることが望ましい。		
履修上の注意事項や学習上の助言	講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。		
学生からの質問への対応方法	E-mail: sakamura@pu-toyama.ac.jp		

健康・看護・介護のロボット技術入門 Introduction to robot technology for health, nursing and care		配当学年	1～4年
		開講学期	前期・集中講座
		単位数	1
		単位区分	
担当教員	富山県立大学 教授 大島 徹, 竹内登美子 小柳健一 准教授 岡本 啓 講師 上村一貴, 佐保賢志, 森重健一, 本吉達郎	関連する 学習・教育目標	
授業の目標	人に優しい看護・介護を目指したロボットや人工知能、生体計測技術に関わる幅広い知識を習得するために、健康・介護・看護と工学の関係を学び、ロボット技術について理解を深める。		
学生の到達目標	① 健康・看護・介護と工学のかかわりを理解し、その概要を説明することができる。 ② ロボットや人工知能、生体計測の基礎を理解し、その概要を説明することができる。		
授業計画	① ガイダンス／健康・介護・看護とロボット技術の関係（大島） ② 健康・体力科学の基礎（岡本） ③ ヘルスリテラシーの基礎（上村） ④ 看護学と工学の連携で広がる人に優しいケア（竹内） ⑤ 健康・介護・看護と運動計測技術の基礎（佐保） ⑥ 健康・介護・看護と人工知能技術の基礎（本吉） ⑦ 健康・介護・看護と運動制御技術の基礎（森重） ⑧ 健康・介護・看護とロボット技術の課題／まとめ（小柳）		
キーワード	健康、介護、看護、ロボット、運動計測、運動制御、人工知能		
成績評価法	レポートによって評価する。		
成績評価基準	レポート（100%）		
教科書・教材参考書等	必要に応じて講義中に紹介する。		
関連科目・履修条件等	これまでの教養・専門基礎科目を標準的に履修していることが望ましい。		
履修上の注意事項や学習上の助言	講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。		
学生からの質問への対応方法	E-mail: oshima@pu-toyama.ac.jp		

授業科目名	現代社会と法 「医療に関する諸問題 -法と医の視点から-」	授業科目区分				職名	担当教員
		対象学期	対象学年	単位数	授業方法		
		大学コンソーシアム富山 単位互換開講科目(教養)					
英文名		夏期集中	2年	2単位	講義	教授	野口 教子 オムニバス形式
授業概要	医療行為は、医療者側と患者側とで一致団結して臨むべき、いわゆる協働関係により成立するものである。これを前提に、本講義はこれまでのお任せ医療や、萎縮医療と言われるような問題について、各々がどのように関わっていくべきかを考えることを目的とする。 「人権」、「終末期医療」を焦点とし、医療現場の現状と理想、医療過誤などを縦糸（問題）に、そして最前線での医療従事者、医療争訟に詳しい弁護士、研究者を横糸（講師）とし、一枚の綴り織り（双方向コミュニティー）を完成させるために何が必要かを考える。						
到達目標	医療にかかわる問題点を認識し、医療従事者側と患者側、あるいは両者を取巻く人々がなすべき双方向コミュニティーはどうあるべきかを自身の問題として考える。						
コンピテンシー（重視する能力）		協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力		
		○	◎	○	◎		

授業科目との関連	履修の前提となる科目	
	関連する科目	憲法 民法 親族法
授業計画	回数	
	第1回	医療と人権 「臨床研究・先端医療における被験者の保護」 9月10日（月）2限 岡山大学大学院教授 山下登 氏
	第2回	同 「子に対する救命のための医療行為における代諾の限界」 9月10日（月）3限 同
	第3回	同 「臓器移植等における患者の権利」 9月10日（月）4限 岡山商科大学教授 穴戸圭介 氏
	第4回	ターミナルケア 「認知症者が住み慣れた地域で最期を迎えるには」 9月11日（火）2限 在宅医療看護師 林浩靖 氏
	第5回	同 「終末期医療を考える」 9月11日（火）3限 富山大学名誉教授 盛永審一郎 氏
	第6回	同 「終末期医療における医療現場の混乱」 9月11日（火）4限 南砺市民病院院長 清水幸裕 氏
	第7回	患者の意思決定 「患者側の医療同意」 9月12日（水）2限 高岡法科大学 専任講師 石田瞳 氏
	第8回	同 「患者の意思決定支援」 9月12日（水）3限 同
	第9回	同 「事前指示からアドバンスケアプランニングへ」 9月12日（水）4限 南砺市民病院院長 清水幸裕 氏
	第10回	高齢者医療と安全管理 「高齢者医療の現状と緩和ケア」 9月13日（木）2限 緩和ケア認定看護師 川上範子 氏
	第11回	同 「地域包括ケアと高齢者医療」 9月13日（木）3限 社会福祉士 藤川泰永 氏
	第12回	同 「医療安全管理」 9月13日（木）4限 南砺市民病院安全管理室 吉澤環 氏
	第13回	医療過誤 「医療事故はどうして起こるのか？ -なぜ医療過誤が争いになるのか-」 9月14日（金）2限 弁護士 石川寛俊 氏
	第14回	同 「医療過誤はどのように判断されるか -特に高齢者医療に関して-」 9月14日（金）3限 弁護士 鶴飼万貴子 氏
	第15回	同 「ペットと医療過誤 -人と動物と法-」 9月14日（金）4限 京都産業大学客員教授 寺沢知子 氏

出席率ではない	講義への参加度（出席率ではない）、レポートにより総合的に評価する。	
使用資料	テキスト	講義時に資料・レジュメを配付する
	参考図書	
受講上の注意	外部からの講師・受講生も多数参加するので、大学生としての誇りを持って参加すること。特に受講態度には注意すること。目に余る受講態度の場合は、以降の受講を認めないこともある。 第15回講義終了後、レポート作成を課すので、なるべく講義中のメモ等をとること。	
事前・事後学習 (学習課題)	事前	
	事後	
オフィスアワー		
備考	第15回講義終了後、レポート作成を課す。	

「とやま地域学」講義要綱

授業科目	実施校	学部名・職名	担当教員
とやま地域学 (集中講義形式)	富山国際大学	現代社会学部 教授	コーディネーター 尾畑 納子
授 業 の 内 容	<p>< 授業の概要 > 2016年の新幹線の開業以来、国内外からの観光客をはじめ来県者が多くなっています。一方で、少子高齢化が一段と進み、地方の活力低下が懸念されることから、2018年から富山県の新総合計画がスタートしました。新しい時代に対応した一人ひとりのライフスタイルの確立が求められます。今年度のとやま地域学では、「富山の魅力と宝もの発見」をテーマに、大学生の皆さんに、富山を知り、魅力を発見してもらいたいと考え企画しました。データから知る富山、富山の歴史・文化、富山の特徴でもある森、川、海などの自然環境から、富山の暮らしを理解し、これからの活力ある富山の地域づくりについて各自が考えることを目指します。</p> <p>キーワード：①富山の歴史と文化 ②富山の自然 ③災害 ④地方の未来創生 ⑤世界遺産</p> <p>< 到達目標 > 目標1：富山の歴史文化、環境、産業の現状などを学び、特色を理解すること。 目標2：富山の自然、農業、災害について学び、持続可能な安全な地域づくりを考える。 目標3：政策の専門家の講義、現地研修を通して、富山、北陸地域の活性化について受講を通して考える。</p>		
	<p>【1日目】9月3日(月) 場所：富山駅前CiCビル5階 研修室</p>		
	<p>第1回 データから見る富山の姿 … 富山地域学研究所所長(元富山国際大学教授) 浜松 誠二 氏</p>		
	<p>第2回 富山の政策と未来を語る … 富山県知事 石井 隆一 氏</p>		
	<p>第3回 富山の政策を考える枠組み … 富山地域学研究所所長(元富山国際大学教授) 浜松 誠二 氏</p>		
	<p>第4回 今後の富山づくり(意見交換を含む) … 富山地域学研究所所長(元富山国際大学教授) 浜松 誠二 氏</p>		
	<p>【2日目】9月4日(火) 場所：富山駅前CiCビル5階 研修室</p>		
	<p>第5回 富山県の歴史と文化(万葉時代～中世)… 前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏</p>		
	<p>第6回 富山県の歴史と文化(近世～) … 前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏</p>		
	<p>第7回 富山の近代史-近代化の始まり(明治時代～大正時代) … 前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原 寛 氏</p>		
	<p>第8回 富山の文学・文化・産業 … 富山市郷土博物館 主幹学芸員 坂森 幹浩 氏</p>		
	<p>【3日目】9月5日(水) 場所：富山駅前CiCビル5階 研修室</p>		
	<p>第9回 富山の自然-富山湾のさかな- … 富山県農林水産総合技術センター水産研究所</p>		
	<p>第10回 富山の自然-土木史から見る富山①- … (一財)全国建設研修センター特任相談役 緒方 英樹 氏</p>		
	<p>第11回 富山の自然-土木史から見る富山②- … (一財)全国建設研修センター特任相談役 緒方 英樹 氏</p>		
<p>第12回 富山の自然と世界遺産 … 富山県総合政策局企画調整室世界遺産担当 松島 吉信 氏</p>			
<p>【4日目】9月6日(木)</p>			
<p>第13回 現地研修(富山県内) … 富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子</p>			
<p>第14回 現地研修(富山県内)</p>			
<p>第15回 現地研修(富山県内) (研修予定先：立山カルデラ砂防博物館、富山市郷土博物館他)</p>			
方 評 法 価	<p>受講態度及び毎時の課題、現地研修(50%)およびレポート提出(50%)をもって総合的に評価する。 試験は実施しない。</p>		
備 考	<p>・テキストは初回に無料配布予定。 ・授業前後の学習に関しては、本要綱の到達目標を踏まえ初日のオリエンテーションで説明を行う。 ・授業に関する質問などは質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じる。</p>		

1日の基本的時間割(第1～12回)

1時限目 9:00～10:30 2時限目 10:40～12:10 3時限目 13:00～14:30 4時限目 14:40～16:10

1日目：9月3日 のみ

1時限目 9:00～10:30 2時限目 10:40～12:50 3時限目 13:40～15:10 4時限目 15:20～16:10
(知事講義)

富山とくすり	配当学年	1～4年
	開講学期	前期・集中講座
	単位数	1
	単位区分	
担当教員	富山県立大学 教員	関連する 学習・教育目標
授業の目標	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤型、DDS、作用機序等）について理解を深める。	
学生の到達目標	① くすりの歴史、製造、開発についてその概要を説明することができる。 ② くすりの働き（剤型、DDS、作用機序等）を理解し、その概要を説明することができる。	
授業計画	① ガイダンス／くすりの歴史と現状／中島 ② 医薬品の設計や合成と構造活性相関／濱田 ③ 微生物や酵素とくすり／米田 ④ くすりのかたちと投与／外部講師 ⑤ ナノテクノロジーと薬物送達／村上 ⑥ 遺伝子とくすり／古澤 ⑦ くすりが効くしくみとバイオ医薬品／磯貝 ⑧新しい治療薬～抗体医薬品～／長井	
キーワード	構造活性相関、酵素、微生物、製剤、薬物輸送、遺伝子、バイオ医薬品、オーダーメイド医療、遺伝子治療	
成績評価法	レポートによって評価する。	
成績評価基準	レポート（100%）	
教科書・教材参考書等		
関連科目・履修条件等		
履修上の注意事項や学習上の助言	講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。	
学生からの質問への対応方法		